

令和8年度 第9学年 英語科 年間指導計画及び評価規準

※ 評価規準の太字は重要部分

※ 【使用領域】 L=聞くこと、R=読むこと、SI=話すこと [やり取り]、SP=話すこと [発表]、W=書くこと

月	単元と目標	時数	各自の目標例	評価規準
4	学び方コーナー			
	Unit 0 Discover a New Side of Classmates	2	クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて伝え合うことができる。	<p>【知】[知識]現在形や過去形、becauseなどを用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W)</p> <p>【技能】現在形や過去形、becauseなどを用いた文の理解をもとに、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて伝え合う技能を身につけている。(L・R・SI・W)</p> <p>【思】クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。(L・R・SI・W)</p> <p>【態】クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。(L・R・SI・W)</p>
	Unit 1 What is special about Japanese pop culture? 【題材】日本のポップカルチャーについての理解を深め、日本文化が持つ魅力について考える。 【活動】日本のポップカルチャーの魅力について、経験や感想と共に伝えることができる。	8	<p>自分のことを知ってもらったりだれかのことを知るために、これまでの経験について理解したり伝えたりすることができる。</p> <p>おたがいのことをよりよく知るために、これまでの経験についてたずねたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</p> <p>日本のアニメが世界で愛されている理由を知るために、アニメの魅力について書かれた文章の概要を捉えることができる。</p> <p>日本のポップカルチャーについて理解を深めるために、アニメとマンガなどの日本の伝統文化との関係について書かれた文章の概要や要点を捉えることができる。</p> <p>海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して話すことができる。</p>	<p>【知】[知識]現在完了形(経験用法)を用いた文、SVOC(C=形容詞)、SVOO(that節)の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W)</p> <p>【技能】現在完了形(経験用法)を用いた文、SVOC(C=形容詞)、SVOO(that節)の文の理解をもとに、経験や人の気持ちや状態の変化、人やものが私たちに伝えることについて伝え合う技能を身につけている。(L・R・SI・W)</p> <p>【思】海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(R・SI・SP・W)</p> <p>【態】海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(R・SI・SP・W)</p>
5	Real Life English 1 ディスカッション □ディスカッションを聞き、自分の意見をまとめるために必要な情報を理解することができる。	1	ディスカッションを聞き、自分の意見をまとめるために必要な情報を理解することができる。	<p>【知】[知識]話の流れを示す語句の意味や働きを理解している。(L・SP)</p> <p>【技能】話の流れを示す語句の意味や働きの理解をもとに、ディスカッションを聞いて内容を聞き取る技能を身につけている。(L・SP)</p> <p>【思】自分の意見をまとめて述べるのに必要な情報を理解するために、修学旅行の班行動で行きたい場所についてのディスカッションを聞いて、要点を捉えている。(L・SP)</p> <p>【態】自分の意見をまとめて述べるのに必要な情報を理解するために、修学旅行の班行動で行きたい場所についてのディスカッションを聞いて、要点を捉えようとしている。(L・SP)</p>

※ 評価規準の太字は重要部分

※ 【使用領域】 L=聞くこと、R=読むこと、SI=話すこと [やり取り]、SP=話すこと [発表]、W=書くこと

月	単元と目標	時数	各自の目標例	評価規準
	Learning <i>Japanese in English</i> 《国語》	1	世界に広がる日本語と日本文化について理解するために、英語俳句について理解したり英語俳句を詠んだりすることができる。	【知】[知識] 英語俳句の書き方を理解している。(R) [技能] 英語俳句の書き方の理解をもとに、英語俳句を詠む技能を身につけている。(R) 【思】世界に広がる日本語と日本文化について理解するために、英語俳句の書き方を理解したり英語俳句を詠んだりしている。(SP・W) 【態】世界に広がる日本語と日本文化について理解するために、英語俳句の書き方を理解したり英語俳句を詠んだりしようとしている。(SP・W)
	Unit 2 How do you choose your clothes? 【題材】エシカルファッションの取り組みを通して、人や環境にやさしい社会の実現について考える。 【活動】人や環境にやさしいファッションの取り組みについて説明することができる。	8	おたがいの状況を知るために、宿題などをすでに終えているかどうかについて、即興で伝え合うことができる。 おたがいのことをよりよく知るために、ある場所に住んでいる期間などについて相手にたずねたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 環境にやさしい取り組みについて理解を深めるために、エシカルファッションについて書かれた文章の概要や要点を捉えることができる。 環境にやさしい行動ができるようになるために、エシカルファッションの取り組みについて書かれた文章の要点を捉えることができる。 エシカルな商品の特徴や長所を伝えるために、エシカルな商品をPRするためのポスターを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して書くことができる。	【知】[知識] 現在完了形(完了・継続用法)、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W) [技能] 現在完了形(完了・継続用法)、現在完了進行形を用いた文の理解をもとに、今の状況や続いている状態や動作についての情報をたずね合う技能を身につけている。(L・R・SI・W) 【思】エシカルな商品の特徴や長所を伝えるために、エシカルな商品をPRするためのポスターを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。(R・SI・SP・W) 【態】エシカルな商品の特徴や長所を伝えるために、エシカルな商品をPRするためのポスターを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。(R・SI・SP・W)
	Real Life English 2 講演 □社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。	1	社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。	【知】[知識] 講演を聞くときのポイントを理解している。(L・W) [技能] 講演を聞くときのポイントの理解をもとに、話し手の伝えたい内容を聞き取る技能を身につけている。(L・W) 【思】話し手の伝えたい内容を理解してまとめることができるように、社会的な話題についての講演を聞いて要点を捉えている。(L・W) 【態】話し手の伝えたい内容を理解してまとめることができるように、社会的な話題についての講演を聞いて要点を捉えようとしている。(L・W)
	Grammar for Communication 1	1	現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	【知】[知識] 現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] 現在完了形や現在完了進行形を用いて、これまでの経験や、過去から現在へとつながる状態や動作を伝える技能を身につけている。

※ 評価規準の太字は重要部分

※ 【使用領域】 L=聞くこと、R=読むこと、SI=話すこと [やり取り]、SP=話すこと [発表]、W=書くこと

月	単元と目標	時数	各自の目標例	評価規準
6	Unit 3 How can we save animals? 【題材】絶滅のおそれのある動物について知り、自分たちにできることを考える。 【活動】絶滅のおそれのある動物について知り、大切なことや取るべき行動について伝えることができる。	8	<p>私たちに大切なことを考えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを伝え合ったりすることができる。</p> <p>だれもにしてほしいことを伝えるために、絶滅のおそれのある動物などについて書かれた文章を理解したり、伝え合ったりすることができる。</p> <p>世界の絶滅のおそれのある動物の状況について知るために、ラッコについて書かれた文章を読んで概要を捉えたり、自分の考えを伝えたりすることができる。</p> <p>環境と私たちの生活について考えるために、絶滅のおそれのあるイリオモテヤマネコについて書かれた文章を読んで、概要を捉えたり、私たちが取るべき行動について意見交換をしたりすることができる。</p> <p>多くの人に絶滅のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと思うことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して記事を書くことができる。</p>	<p>【知】[知識] (It is ... (for + (人など)) + to) の文、(want + (人など) + to) や (let [help] + (人など) + 動詞の原形) を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI)</p> <p>[技能] (It is ... (for + (人など)) + to) の文、(want + (人など) + to) や (let [help] + (人など) + 動詞の原形) を用いた文の理解をもとに、人にとって大切だと思うことや、人にしてほしいことなどについて伝え合う技能を身につけている。(L・R・SI)</p> <p>【思】多くの人に絶滅のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと思うことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて記事を書いている。(R・SI・SP・W)</p> <p>【態】多くの人に絶滅のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと思うことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて記事を書こうとしている。(R・SI・SP・W)</p>
	Real Life English 3 グラフや表の活用 □資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。	1	資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。	<p>【知】[知識] 事実や意見を書くときの基本的な構成や表現を理解している。(R)</p> <p>[技能] 事実や意見を書くときの基本的な構成や表現の理解をもとに、資料から事実と意見を区別して読み取る技能を身につけている。(R)</p> <p>【思】日本国内の絶滅のおそれのある動物について感想や意見をまとめるために、資料から読み取った情報について事実と意見とを整理し、まとまりのあるレポートを書いている。(R・W)</p> <p>【態】日本国内の絶滅のおそれのある動物について感想や意見をまとめるために、資料から読み取った情報について事実と意見とを整理し、まとまりのあるレポートを書こうとしている。(R・W)</p>
7	Learning Science in English 《理科》	1	生態系に起こっている問題を知るために、日本に住むシカの数について書かれた文章の概要を読み取ったり、食物連鎖について説明したりして、自分の考えを述べるることができる。	<p>【知】[知識] 生態系や食物連鎖に関する語句の意味や働きを理解している。(R・SP)</p> <p>[技能] 生態系や食物連鎖に関する語句の理解をもとに、生態系に起こっている問題について自分の考えを述べる技能を身につけている。(R・SP)</p> <p>【思】生態系に起こっている問題を知るために、日本に住むシカの数について書かれた文章の概要を読み取ったり、食物連鎖について説明したりして、自分の考えを述べている。(SP)</p> <p>【態】生態系に起こっている問題を知るために、日本に住むシカの数について書かれた文章の概要を読み取ったり、食物連鎖について説明したりして、自分の考えを述べようとしている。(SP)</p>

※ 評価規準の太字は重要部分

※ 【使用領域】 L=聞くこと、R=読むこと、SI=話すこと [やり取り]、SP=話すこと [発表]、W=書くこと

月	単元と目標	時数	各自の目標例	評価規準
	Grammar for Communication 2	1	不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	【知】[知識]不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】不定詞を用いて、人にしてほしいことや、人にとって大切なことなどを伝える技能を身につけている。
	Stage Activity 1 Discover Japan □日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明することができる。 自己で選択・決定・調整できる授業として「学習の手引き」を利用する。	4	海外の人に日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明することができる。	【知】[知識]Unit 3までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 【技能】Unit 3までの学習事項を用いて、日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明する技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) 【思】日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化などの情報を整理して、日本文化を紹介するパンフレットを書いて説明したり、感想をたずね合ったりしている。(L・R・SI・SP・W) 【態】日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化などの情報を整理して、日本文化を紹介するパンフレットを書いて説明したり、感想をたずね合ったりしようとしている。(L・R・SI・SP・W)
	Let's Read 1 A Mother's Lullaby □物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読することができる。	4	物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読することができる。	【知】[知識]場面や人物の心情を表す表現を理解している。(R) 【技能】場面や人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って場面の変化や登場人物の心情を読み取る技能を身につけている。(R) 【思】気持ちをこめて音読することができるように、背景知識を使い、物語の流れに沿った場面の変化や登場人物の心情が書かれた文章の概要を捉えている。(R) 【態】気持ちをこめて音読することができるように、背景知識を使い、物語の流れに沿った場面の変化や登場人物の心情が書かれた文章の概要を捉えようとしている。(R)
9	Unit 4 How can we help each other in a disaster? 【題材】防災・安全への関心を高め、地域の一員として防災に取り組む意識を持つ。 【活動】防災・安全への意識を高め、地域の一員として取るべき行動を考えて伝え合うことができる。	8	防災への意識を高めるために、外国人市民意識調査の結果について書かれた文章の要点を捉えたり伝えたりすることができる。 防災への意識を高め具体的な行動を取るために、どのような備えをしておくべきかなどについて伝え合うことができる。 地域が一丸となって支え合い、災害に備えることの大切さを知るために、テイラーさんとテイラー文庫について書かれた文章の概要と要点を捉えたり、自分の考えや感想を書いたりすることができる。 防災・安全への意識を高めるために、地域の一員としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して話したり書いたりすることができる。	【知】[知識]間接疑問文とSVOO(what節)の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) 【技能】間接疑問文とSVOO(what節)の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の理解をもとに、何かを知っていると伝えたり、言葉に情報を加えたりして、事実や気持ちを話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP) 【思】防災・安全への意識を高めるために、地域の一員としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(R・SI・SP・W) 【態】防災・安全への意識を高めるために、地域の一員としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(R・SI・SP・W)
	Real Life English 4 町中での手助け □相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。	1	相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。	【知】[知識]手助けを申し出る表現の意味や働きを理解している。(SI) 【技能】手助けを申し出る表現の理解をもとに、困っている相手に言葉をかけたり、具体的な提案をしたりする技能を身につけている。(SI) 【思】困っている相手に対して状況に合った手助けができるように、相手の立場に立った具体的な提案を申し出たり、相手からの質問に答えたりしている。(SI) 【態】困っている相手に対して状況に合った手助けができるように、相手の立場に立った具体的な提案を申し出たり、相手からの質問に答えたりしようとしている。(SI)

※ 評価規準の太字は重要部分

※ 【使用領域】 L=聞くこと、R=読むこと、SI=話すこと [やり取り]、SP=話すこと [発表]、W=書くこと

月	単元と目標	時数	各自の目標例	評価規準
	Learning Art in English 《美術》	1	絵が持つ力について考えるために、世界中に壁画を残す活動についての感想を伝え合うことができる。	【知】[知識]芸術や絵画についての語句の意味や働きを理解している。(R・SI) 【技能】芸術や絵画についての語句の理解をもとに、絵が持つ力について伝え合う技能を身につけている。(R・SI) 【思】絵が持つ力について考えるために、世界中に壁画を残す活動について、情報と考えを整理して感想を伝え合っている。(R・SI) 【態】絵が持つ力について考えるために、世界中に壁画を残す活動について、情報と考えを整理して感想を伝え合おうとしている。(R・SI)
10	Unit 5 What makes a good leader? 【題材】ガンディーの功績を知り、平和や人権の大切さを考える。 【活動】ガンディーの功績を知り、平和や人権の意味について考えることができる。 自己で選択・決定・調整できる授業として「学習の手引き」を利用する。	8	どのような人やものかを理解したり伝えたりするために、情報を加えて、人やものについて説明したり、伝え合ったりすることができる。 どのような人かを理解したり伝えたりするために、情報を加えて説明したり、伝え合ったりすることができる。 平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えたり、時間軸に沿って事実を説明したりすることができる。 理想のリーダーとはどのような人かを伝えるために、理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して話したり書いたりすることができる。	【知】[知識]名詞を修飾する文と、関係代名詞who, that [which](主格・目的格)を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) 【技能】名詞を修飾する文と、関係代名詞who, that [which](主格・目的格)を用いた文の理解をもとに、詳しい情報を加えて、どのような人か、どのようなものかを話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP) 【思】理想のリーダーとはどのような人かを伝えるために、理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(R・SI・SP・W) 【態】理想のリーダーとはどのような人かを伝えるために、理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(R・SI・SP・W)
	Real Life English 5 記事への意見 □社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。	1	社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。	【知】[知識]自分の意見とその理由や根拠を書くための基本的な構成や表現を理解している。(R・W) 【技能】自分の意見とその理由や根拠を書くための基本的な構成や表現の理解をもとに、社会的な話題に関する英文を読んで、理由や根拠を読み取る技能を身につけている。(R・W) 【思】社会的な話題に関する英文について意見を伝えられるように、賛成か反対か自分の立場を決めて、その理由や根拠を整理し、投稿文を書いている。(R・W) 【態】社会的な話題に関する英文について意見を伝えられるように、賛成か反対か自分の立場を決めて、その理由や根拠を整理し、投稿文を書こうとしている。(R・W)
	Grammar for Communication 3	1	後置修飾を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	【知】[知識]後置修飾を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】後置修飾を用いて、情報を加えて説明する技能を身につけている。
	Stage Activity 2 My Activity Report □これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。	4	自分のことをよりよく知ってもらうために、これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。	【知】[知識]Unit 5までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 【技能】Unit 5までの学習事項を用いて、これまでの経験をふり返って活動報告をする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) 【思】自分のことをよりよく知ってもらうために、部活動や委員会などの活動について、活動報告の構成を理解したうえで、自分の経験や感想などを即興で話したり、まとまりのある文章を書いて発表したりしている。(L・R・SI・SP・W) 【態】自分のことをよりよく知ってもらうために、部活動や委員会などの活動について、活動報告の構成を理解したうえで、自分の経験や感想などを即興で話したり、まとまりのある文章を書いて発表したりしようとしている。(L・R・SI・SP・W)
11	Unit 6 What does it mean to be a global citizen? 【題材】国をこえて助け合うことの大切さを知り、自分に何ができるのかを考える。 【活動】国をこえて助け合うことの大切さを知り、願いや思いを伝えることができる。 自己で選択・決定・調整できる授業として「学習の手引き」を利用する。	8	世界の子供たちの状況や気持ちを理解するために、現実とは異なる願いについて書かれた文を理解したり、自分の願いを伝えたりすることができる。 国をこえて助け合いたいという気持ちを伝えるために、できたらいいと思うことを伝え合うことができる。 国をこえて助け合うことの大切さを理解したり伝えたりするために、国際社会の状況について書かれた文章の概要や要点を捉えたり、意見や感想を伝えたりすることができる。 国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民の1人としての抱負について伝え合うことができる。	【知】[知識]仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI) 【技能】仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の理解をもとに、現実とは異なる願い事やできたらいいと思うことを伝え合う技能を身につけている。(L・R・SI) 【思】国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民としての抱負について、事実や自分の願い、思いを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。(R・SI・SP・W) 【態】国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民としての抱負について、事実や自分の願い、思いを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。(R・SI・SP・W)
	Real Life English 6 テレビの国際ニュース □ニュースなどのテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を理解することができる。	1	ニュースなどのテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を理解することができる。	【知】[知識]未知語への対応などニュースの聞き取り方を理解している。(L・SP) 【技能】未知語への対応などニュースの聞き取り方の理解をもとに、ニュースなどのテレビ番組の音声聞いて内容を聞き取る技能を身につけている。(L・SP) 【思】自分の言葉で説明できるように、ニュースなどのテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を捉えている。(L・SP) 【態】自分の言葉で説明できるように、ニュースなどのテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を捉ようとしている。(L・SP)

※ 評価規準の太字は重要部分

※ 【使用領域】 L=聞くこと、R=読むこと、SI=話すこと [やり取り]、SP=話すこと [発表]、W=書くこと

月	単元と目標	時数	各自の目標例	評価規準
	Learning <i>Social Studies</i> in English 《社会》	1	世界の現状について理解するために、世界を人口100人の村だと仮定して、自分の感想や考えを伝えることができる。	【知】[知識]世界の現状について知るための語句の意味や働きを理解している。(L・W) 【技能】世界の現状について知るための語句の理解をもとに、聞いた内容を伝える英文を書く技能を身につけている。(L・W) 【思】世界の現状について理解するために、世界を人口100人の村だと仮定して、聞き取れた内容を整理し、自分の感想や考えをまとめて話している。(SP) 【態】世界の現状について理解するために、世界を人口100人の村だと仮定して、聞き取れた内容を整理し、自分の感想や考えをまとめて話そうとしている。(SP)
	Grammar for Communicat	1	仮定法を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	【知】[知識]仮定法を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】仮定法を用いて、現実とは異なる願いや仮定の話伝える技能を身につけている。
12	Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate □主張とその理由を明確にし ながら、ミニディベートを することができる。	4	物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、主張とその理由を明確にし ながら、ミニディベートを することができる。	【知】[知識]Unit 6までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 【技能】Unit 6までの学習事項を用いて、ある論題について賛成・反対の立場を決めて、主張とその理由を明確にし ながら、意見を伝え合う技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) 【思】物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでミニディベートを行い、論点に沿った主張をしている。(L・R・SI・SP・W) 【態】物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでミニディベートを行い、論点に沿った主張をしようとしている。(L・R・SI・SP・W)
1	Let's Read 2 Power Your Future □エネルギー問題に関する 説明文を読んで、概要を理 解し、自分の考えや意見を述 べる ことができる。	4	エネルギー問題に関する説明文を 読んで、概要を理解し、自分の考 えや意見を述べる ことができる。	【知】[知識]長所と短所を比較して述べる文章の構成を理解している。(R) 【技能】長所と短所を比較して述べる文章の構成の理解をもとに、エネルギー問題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。(R) 【思】自分の考えや意見を述べる ことができるように、さまざまなエネルギー問題について書かれた説明文の概要を捉えている。(R・SP) 【態】自分の考えや意見を述べる ことができるように、さまざまなエネルギー問題について書かれた説明文の概要を捉えようとしている。(R・SP)
2	Let's Read 3 Coloring Outside the Lines □伝記を読んで、人物の歩 みや功績を読み取り、自分の 感想を述べる ことができる。	4	伝記を読んで、人物の歩みや功績 を読み取り、自分の感想を述べる ことができる。	【知】[知識]人物について書かれた伝記の文章構成を理解している。(R) 【技能】人物について書かれた伝記の文章構成の理解をもとに、その人物の歩みと功績を読み取る技能を身につけている。(R) 【思】自分の感想を述べる ことができるように、エリック・カールについて書かれた伝記を読んで、その歩みや功績と、彼の絵本にこめられたメッセージを読み取っている。(R・SI・W) 【態】自分の感想を述べる ことができるように、エリック・カールについて書かれた伝記を読んで、その歩みや功績と、彼の絵本にこめられたメッセージを読み取ろうとしている。(R・SI・W)